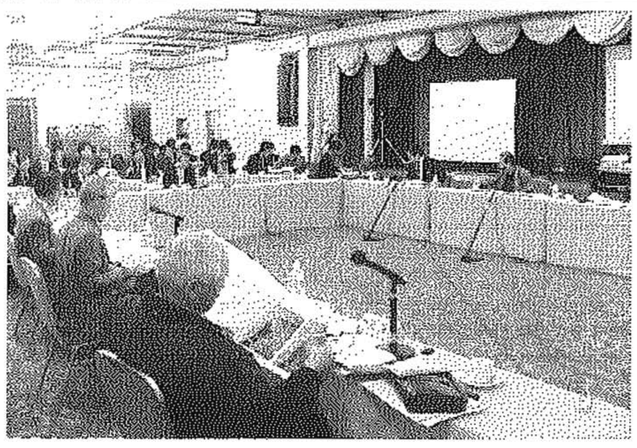
「但し書き操作」見直しを提案

第1回鶴田ダムの洪水調節に関する検討会

鶴田ダムの洪水調節に関する検討会（委員長・小松利光九州大学大学院工学研究院教授）の第1回会合＝写真＝が6日、さつま町ひかり別館であり、ダム下流域の住民代表や自治体、学識者等からなる検討委員が出席。洪水調節の検証や洪水調節方法の見直しの可能性について協議した。冒頭、事務局の今井徹九州地方整備局鶴田ダム管理所長と加治屋義信同局川内川河川事務所長が「鶴田ダムの洪水調節について」それぞれの立場から説明した。



説明資料のうち、18年7月洪水のダム下流域の9カ所について「ダムがあった場合」と「ダムがなかった場合（推定）」の被害状況の対比写真が示され、井上章三委員（さつま町長）らから「対比写真は大変いい。他の浸水地区も同様に示してほしい。また放流量600㎜、900㎜、1100㎜、1400㎜、2400㎜の各段階で浸水被害はどうなるかを同様の手法を使ってシミュレーションし、地域に示してみてはどうか」と提案。事務局は「現在、測量中で最新のデータで整理したい。もう少し時間がほしい。住民への周知の方法については次回の検討会で提案したい」と回答。

住民代表の中園凱和委員（薩摩川内市久住地区）は「操作規則見直しの言葉が出るが、住民の意見が本当に反映されるのか」と指摘。これに対して「操作規則を定める時には住民の意見を聞くなどの条項は入っていない。しかし検討したい。そのためにもまず操作規則の考え方をご理解いただきたい。見直しが必要であれば検討したい」と述べた。

小松委員長は「操作規則は管理者の方で一方的に決めていた。検討会での意見が反映されるなら全く新しいというか、会は先駆的な役割を果たしていることになる」と補足した。また「小さな洪水に目をつぶれば大洪水に対応できる。しかし、それでは住民が納得しない。折衷案として、『但し書き操作（計画規模を超える洪水時の操作）』をもう少し早めれば中小洪水時にも大洪水にも対応できる」と提案。

専門は水工学（河川工学）。説明資料「鶴田ダムによる洪水調節状況」の湯田水位観測所と宮之城観測所が示したデータから「ダム放流以前に宮之城水位は急激に上昇していた下流域に比べ、ダム放流時に水位に大きな影響を与えているものと思われる。また操作については『但し書き操作』を早めるのが有効ではないか」と提案した。

28日に第2回検討会開催

会では森永健一薩摩川内市危機管理監（森卓郎市長代理）はじめ委員全員が発言。予定の時間を超過し、「ダム放流時における情報提供について」「洪水操作方法の見直しおよび情報提供のあり方について」は次回、2月28日開催の第2回検討会に持ち越すことにした。また3月17日午後1時から宮之城文化センターで住民との意見交換の開催を決めた。

当日は同資料のほかに1月16日の事前打ち合わせ会議事録と「18年7月22日出水（しゅっすい）における鶴田ダム洪水調節の検証」（九州整備局）が配布された。

旭硝子、10×10プロジェクト

8日に贈呈式

旭硝子㈱（門松正宏代表取締役・社長執行役員）は、ガラスパワーキャンペーンの10×10プロジェクトで本県が2度目の2万クリック以上に達したことから、鹿児島市立桜島中学校に防災ガラスを寄贈する。贈呈式は8日午後2時20分から同市役所市長室で実施する。

同プロジェクトは、一般市民らがホームページのサイトから地域をクリックし、2万クリックに達すると旭硝子が学校や公民館など指定避難場所防災ガラスを寄贈する活動で、山形市、垂水市についで3番目。

今回は、1月13日から21日の期間で、桜島中学校の体育館のすべて（計263㎡）で防災合わせガラスに交換した。

詳細は、同プロジェクトのホームページ（http://www.glasspower.jp/10x10/index.php）で掲載している。

風力発電施設と自然環境保全で

研究会を設置 6月頃までに方向性

環境省など

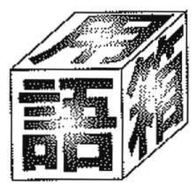
環境省と資源エネルギー庁は、自然公園などでの風力発電施設の可能性を検討するため「風力発電施設と自然環境保全に関する研究会」を設置した。風力発電施設の建設に当たって、希少生物の生育環境や景観などに与える影響と対策の在り方を話し合う。6月ごろまでに一定の方向性を示す。

風力発電は地球温暖化防止に有効な代替エネルギーとして積極的な導入が進み、17年度末現在、1050基の発電設備が稼働している。

風力発電には風況が良好な立地が求められるが、そうした場所は稀少生物の生息・生育地であったり、優れた景観を持つところであったりすることから、事業者と地域住民、環境団体との間であつれきが生じることも少なくない。

エコアクション21

エコアクション21とは、ISO規格の取得が困難な中小企業などが、二酸化炭素や廃棄物などの排出量を低減するための行動計画を自主的に策定するための簡易な仕組みで、平成16年度から外部認証制度を負荷した新エコアクション21がスタート。



ノウハウ・認証・登録制度は、広範な中小企業、学校、公共機関などに対して、「環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告する」ための方法として、環境省が策定したエコアクション21ガイドラインに基づく、事業者のための認証・登録制度です。

中央トピックス

整備計画の精査、都道府県に要請

厚労省

厚生労働省は、2月に行う都道府県などとの19年度保健衛生施設整備費補助金のヒアリングを前に、整備計画書の精査と市町村への指導を要請した。

17年度の補助対象施設の中には、対象施設と対象外施設・共用事務所から成る複合施設の補助算定をめぐって、共用部分の工事費全体を補助対象経費に計上して過大の補助金を受け取り、会計検査院から国庫補助金の返還を命じられた事例が発生。また、近年は同省が実施計画を承認した後に申請を取り下げるケースも見受けられることから注意を喚起した。

19年度水道法の省令改正

厚労省

厚生労働省は、クリプトスポリジウムなどの耐塩素性病原生物対策を推進する。19年度はパブリックコメントなどを踏まえて水道法第5条に基づく施設基準などを見直し、省令を改正する。また、耐塩素性病原生物対策として行う紫外線処理施設整備を補助対象に加える。

同省は、平成8年に「水道中のクリプトスポリジウム暫定対策指針」を定めて都道府県に通知。12年には同法第5条に基づく「水道施設の技術的基準を定める省令」にろ過などの設備の設置について規定していた。

びわこ銀行が優秀提言

環境省

環境省は、18年度「NGO／NPO企業環境政策提言」の優秀提言として、びわこ銀行などが提案した「多主体連携による家庭版ESCOスキームを用いた家庭部門の省エネルギーの推進」を選んだ。2月28日に東京都港区の航空会館で開くフォーラムで、提言の発表や意見交換を行う。

共同研究の参加企業募集

土木研究所

土木研究所は、地すべりの挙動把握や作業機械の遠隔操作に関連した技術開発を進めるため、民間企業などから共同研究者を募集している。応募の締め切りは3月1日。

今回募集するテーマは①崩落に向かう地すべり体の挙動把握に関する共同研究②作業機械の遠隔操作におけるマンマシンインターフェイスの開発－の二つ。いずれも土木研究所が提案するテーマでの共同研究。

基幹技能者認定で講習会

日本躯体

日本建設躯体工事業団体連合会（日本躯体、才賀清二郎会長）は4日、東京都板橋区立グリーンホールで、「鳶・土工基幹技能者」認定講習会を開いた。日本躯体では、3月に東京で再度、中国地区（広島）、北海道でも講習会を実施する予定。青木洋次郎副会長は挨拶で、「18年度中には340人くらいの仲間が誕生する。今後21年3月までに1000人を目指す。日本鳶工業連合会も5年後に1000人を目標にしているため、合わせて約2000人を達成することになる」と、基幹技能者の育成目標を紹介した。

九州7県の建設情報をネットワークで結ぶウェブ九州誕生!!
◆Web九州　福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島の九州7地区の情報を網羅する入札情報配信サービス
◆Web福岡　福岡県内の国・県・市町村の建設関連の情報を網羅する建設ネット
無料体験キャンペーン実施中!!　kyusyu@web-kyusyu.com
有限会社ウェブ九州　〒812-0017 福岡市博多区美野島3丁目
TEL 092(414)0160・FAX 092(414)
URL:http://www.web-kyusyu.

昭和31年8月6日第三種郵便物認
社団法人日本専門新聞協会加盟

かごしま 建設新聞
株式会社 鹿児島建設新聞社
発行人 大迫純一
鹿児島市錦江町3番36号
電話 099－227－5100
FAX 099－225－1919
振替口座 02020－5－2555
ホームページ
http://www.kc-news.co.jp

建設機材のリース・レンタル
中央仮設 株式会社
受注専用 FAX0120・880・689
本社 ☎099・229・5900
鹿児島（永吉・川上・緑ケ丘）・串木野
出水・大口・空港・南薩・金峰・鹿屋
お近くの営業所から迅速にお届けします

公共土木関係被害 道路・河川等95件

県が災害救助法適用

県北部地方豪雨

県危機管理防災課は24日午後2時現在で、県北部地方等の大雨・洪水警報による被害状況（7月20日～24日）を明らかにした。住家被害では全壊がさつま町や大口市など3市2町で17棟、半壊が出水市などで3棟、一部損壊が大口市などで53棟、床上浸水がさつま町などで1545棟、床下浸水が出水市などで1046棟。公共施設等被害では、道路が45件、河川が48件などとなっているほか、市町村立学校も18校が床上浸水するなど各地に大きなつめ跡が残った。

家屋浸水は2591棟

県は22日、大きな被害を受けた出水市、大口市、薩摩川内市、さつま町、菱刈町、姶良町に災害救助法の適用を決定。被災住民への物資支援など行っていく。また、被害額や件数についても、県・各市町で調査を進めており、被害はさらに拡大する見込みだ。

公共施設等被害は次の通り（項目＝①件数②被害額、単位千円③概要）。

【土木関係】
▽道路＝①45件②調査中③県14、市町村31
▽河川＝①48件②調査中③県48
▽下水道＝①1件②調査中③市町村1
▽公園＝①1件②調査中③県1

【農業関係】
▽農地＝①50件②調査中③農地流出・埋没等
▽農業施設＝①60件②調査中③道路陥没・法面崩壊

【林務水産関係】
▽林地崩壊＝①8件②79、000
▽治山施設＝①調査中
▽林道＝①調査中
▽森林＝①調査中
▽県営林＝①調査中

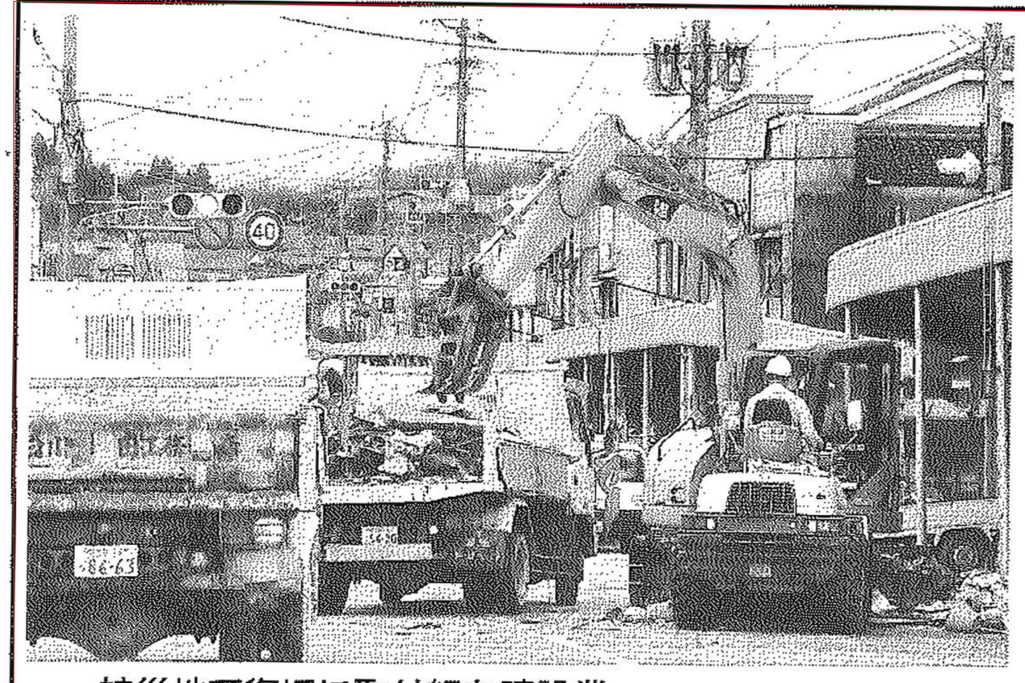
【環境生活部関係】
▽埋立処分地施設＝①1件②調査中③湧水町
▽病院・診療所＝①6件②調査中
▽福祉施設＝①5件②調査中

【商工労働部関係】
▽店舗・建物（出水市）＝①54件②49、000
▽その他の施設・機械設備（同）＝①35件②275、900
▽商品・製品・原材料（同）＝①20件②62、800

【出納室関係】
▽出水合庁本館＝②調査中
▽同・別館＝②調査中

【教育庁関係】
▽大口市＝①3件②調査中③小2、中1
▽湧水町＝①5件②調査中③小2、中1、幼1、調理場1
▽阿久根市＝①3件②調査中③小3
▽さつま町＝①3件②10、000③小2、中1
▽薩摩川内市＝①1件②調査中③小1

【総務部関係】
▽私立学校（出水市）＝①1件②調査中③校舎2棟（床上浸水）、体育館（床下浸水）
▽専修・各種学校（同）＝①1件②調査中③校舎1棟（床上浸水）
▽県立短大＝①3件②調査中③雨漏り



被災地で復旧に取り組む建設業
＝さつま町虎居地区の商店街で

災害時の協定に基づき

地域の建設業団体 迅速に応急対策

県建設業協会各支部など地域の建設業団体は、県や各地方自治体との大規模災害時の応急対策協定に伴い、22日から23日を中心として土のう積みや流木の撤去等に取り組んだ。今後も浸水した被災地の汚泥除去やごみの搬出等を実施していく。

県建設業協会川内支部は、県川内土木事務所と薩摩川内市の要請により、21日午後5時頃から準備体制に入った。22日午前8時頃に応急対策の要請が入り、6班体制で活動を開始。田代藤夫支部長や事務局等は23日まで2日間にわたり川内建設会館に詰め、当局からの指示を受けた。それに基づき、全会員を動員し、氾濫（はんらん）した高城川や銀杏木川等で作業に当たった。また、薩摩川内市管工事協同組合では中村地区の本管布設等を実施し、ライフラインの確保に尽力している。

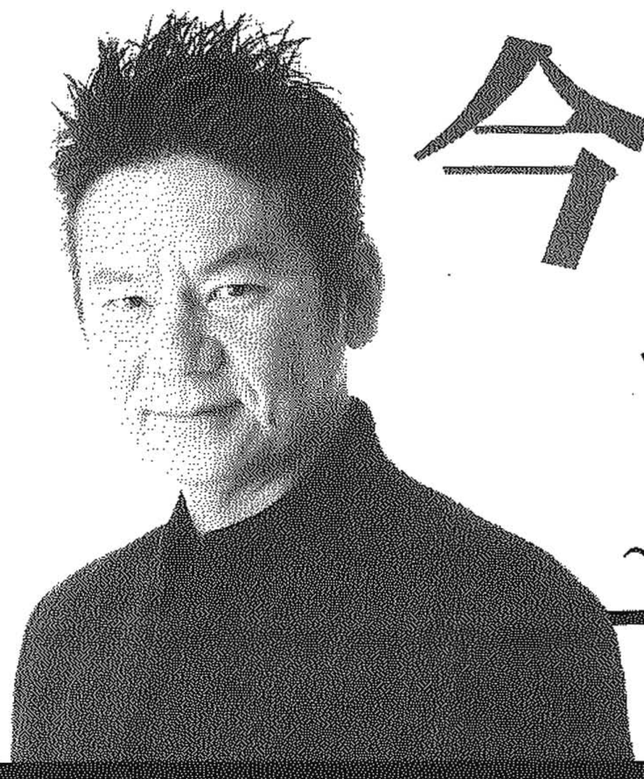
宮之城支部は、県川内土木事務所とさつま町の要請により応急対策に入った。入来地区からの建設業の応援ももらい、虎居、山崎、下湯田、川原地区等を中心に作業を進めている。24日は、浸水した被災地で汚泥除去やごみの搬出に全力を上げていた。白川田廣八支部長は「災害協定を結んでいたおかげもあり、迅速に対応できている。今は住民の皆さんが一刻も早く、普段の生活に戻れるよう最優先で行動している」と語った。

出水支部も、大規模災害時の細目協定に基づき応急対策を実施。米ノ津川がオーバーフローで道路や護岸が崩壊・崩落したことから土のう積み、広瀬橋の冠水による流木の撤去などを行った。浸水個所の掃除やごみ収集も引き続き進めていく。

大口支部は、菱刈町の堀切峠のがけ崩れの救助活動をはじめ、各国道や県道の土砂崩れ等の復旧作業等に尽力。国道3号からの大型輸送車の流入増で一時道路の混雑もあったが、土砂除去により円滑な交通に寄与できた。

栗野支部も、浸水被害のひどかった湧水町吉松地区等で汚泥除去やごみの搬出作業等に全力を上げている。

豪雨災害のお見舞い
この度の豪雨により、被害に遭われました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
1日も早い復旧を心からお祈りいたします。
平成18年7月25日
株式会社 鹿児島建設新聞



今井雅之 ディナーショー
8/9（水）
～ホテルのシェフによるお料理＆ドリンク付～
場所 かごしま空港ホテル
料金 10,000円（お一人様）【全席指定・税・サービス料込】
定員 150名様限定
受付 18:30～
食事 19:00～
ショー 20:00～21:00
～予約・販売・問い合わせ先～
マイクロカット 0995-48-5611（藤久保）
ナンニチ 0995-48-2203（今井）
鎌田建設 0995-46-3000（福迫）
国分電機 0995-47-3311（大津）
映画「THE WINDS OF GOD」
▶8/12（土）～16（水）…5日間連続上映
霧島市多目的ホール（シビックセンター2F）
上映時間 ①11:00～13:05 ②14:30～16:35 ③18:00～20:05
前売券好評発売中！
▶8/19（土）より上映
鹿児島ミッテ10
一般 1,300円（税込）
舞台「THE WINDS OF GOD」
前売券好評発売中！
▶8/11（金） 18:00開場 18:30開演
霧島市溝辺町 みそめ館
全席指定 4,000円
▶8/13（日） 18:00開場 18:30開演
大口市 大口文化会館
自由席 3,000円